



研究室紹介

知的感性システム工学研究室 井門 俊治 教授

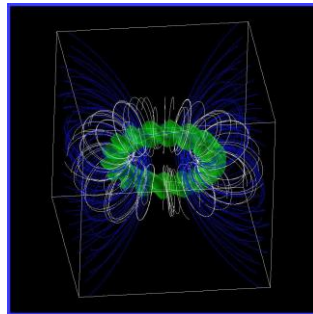
研究内容

近年、コンピュータ、携帯電話、インターネットなどの普及に伴い、マルチメディア技術は我々の生活と密接に関わってきている。これと共にテレビ、映画、CMなど映像メディアにおけるコンピュータグラフィックスも進展が著しい分野のひとつとなっている。また科学的成果を可視化する技術は発展途上であり、今後に期待の持てるものである。

当研究室では、3次元電磁場解析、3次元可視化研究、マルチメディアシステム等の研究を行っている。その内容は、まず可視化研究として計算科学とその可視化、計測結果の可視化（題材は、宇宙の観測結果、生体などの3次元構造体のデータ、3次元材料の表面計測）、3次元CG、である。なお最近では没入型3次元可視化装置（CAVE=CAVE Automatic Virtual Environment）を用いた科学的可視化の研究も進展しており、これまでにない斬新な研究結果に期待が持てる。可視化だけでなく、3次元映像そのものの研究もテーマのひとつである。これはマルチメディアシステムの研究にも深く関わるものである。マルチメディア分野の研究としては、例としてビデオ配信システムの構築などを行っている。



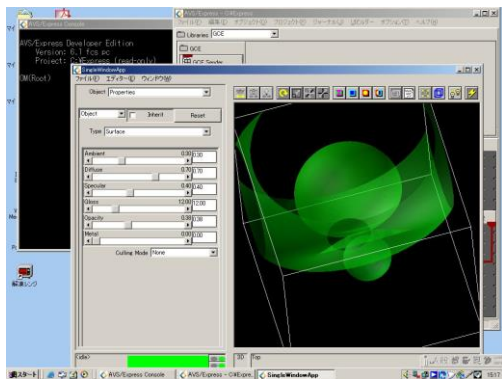
QED用キャラクタの作成画面



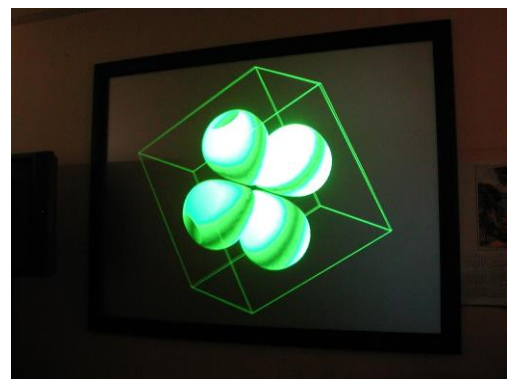
3次元磁場解析、PC上での再現図



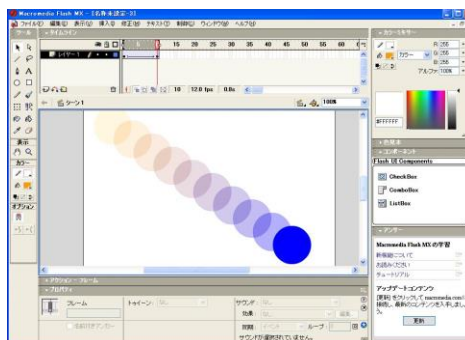
3次元CG、PC上での再現図



AVSでの作成&表示



22号館の2222室での立体視の映像



Flashの作成画面